

公開保育における施設関係者評価

日時 令和6年9月5日（木） 午前10時00分～午後11時30分

場所 社会福祉法人良友会 あゆみこども園

評価者 笠縫東小学校、笠縫東こども園、草津大谷保育園、第4保育所、常盤小学校、笠縫東総合センター、草津東高等学校等の職員

内容・ねらい

多様な価値観や状況に置かれている子どもや家庭がある事を知り、学校・園・所・関係機関、家庭および地域社会との持続可能な連携体制の構築を図るとともに、子どもたち一人ひとりが大切にされ安心して過ごすことのできる居場所づくり、自己有用感や自己効力感等を味わうことのできる出番づくりに取り組むことより、生きぬく力の礎となる自尊感情を育むことを目的とする。また、公開保育を通して、自分たちの保育を見直す機会とする。

評価(参加者)

- ・異年齢保育をずっと続けておられ、異年齢での子どもの育ち合いの良さを改めて感じた。
- ・五感や身体全体を使っでの保育内容が多く、魅力的かつ活発な活動だった。
- ・園児も保育者も、笑顔が溢れており、楽しんでいるのが伝わってきた。
- ・子どものつぶやきを大切にしながら、丁寧に関わっておられた。
- ・施設が美しく整えられており、子どもたちが気持ちよく生活・遊びに取り組める環境でした。
- ・子どもたちが玩具を自分自身で片付けられるよう、視覚的にも物理的にも整理整頓されていた。
- ・性教育とまでは思わないが、お着替えの場面では、もう少しプライベートゾーンなどを意識して、目隠しやパーティション等を使ってもいいと思う。 等

総評

昨今、不適切保育がメディアで度々取り上げられている中、普段から保育士らしい振る舞い、丁寧な関わりを心がけている。一方で、一部の保育者や多忙な場面では、キツイ言葉遣いが見受けられた。そのこと、全職員に周知し、どのような場面でも保育士としての自覚をもち、丁寧かつ冷静沈着に振る舞うよう意識統一を図った。また、性被害防止対策としても、幼児期から意識できる取り組みを一層強化していきたい。